# 大分県拠点だより



令和7年7月発行 [NO.39]

<u>「#(ハッシュタグ)」</u>とは、SNS等で**特定のテーマについて検索**して一覧表示する機能のことです。



株式会社 ドリームファーマーズ **JAPAN** 

安部元昭 • 宮田宗武

YouTubeでブドウ栽培 技術伝承の発信や地域活性化に向け たイベントを開催。安心院でのグリ -ンツーリズムに尽力。

[YouTube]

ドリームファーマーズ ちゃんねる



kaoluna 和草ハーブ農園

伊藤香菜子

農薬、肥料は使わず、雑草 を資源として農地の土壌を育 てる不耕起草生栽培を実践。テーマに 合わせてブレンドしたハーブティーが 人気。

[Instagram]

kaoluna\_farm



「みどりの食料システム戦略」の理 解醸成を図るため、昨年度に引き続き 発信力や影響力のあるインフルエン -農業者等5組7名(新メンバー1 名)と連携して取り組むこととし、6 月13日に"おおいた「みどり戦略」 オフィシャルインフルエンサー"委嘱 式を行いました。

インフルエンサーの皆さんには、各 種SNS等での情報発信とともに、県拠 点と連携した取り組みを行っていただ く予定です。

インフルエンサーとの連携

(大分県拠点HP)

**KKFARM** 

工藤桂子

フリーアナウンサーを しながら喋れる農家として 活動中。子育て世代が穏やかな気持 ちで過ごせるよう、農業でできるこ とにチャレンジしSNSで発信中。

[Instagram]

keido\_oita



国教教国

# 深田祐二•渡部順子

Kabosu Company

YouTubeでかぼす栽培の 様子、草刈り動画等の発信。 地域の行事や伝統の継承にも注力、限 界集落の維持やゲストハウスの整備で 地域活性化に奮闘。

[YouTube] かぼすTV

株式会社



【Instagram】 kabosu\_tv



とよたまさんぽ

☆新メンバ Kaoru cooking

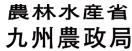
坂本 薫

野菜ソムリエの資格等を 持つ料理研究家。以前はおおいたオ ーガニック・サポーターとしても活 躍。親子料理教室の主宰や郷土料理 の継承など食育活動に貢献。

[Instagram]

kao0309s





# #令和6年度 食料・農業・農村白書が公表されました

本白書は、食料、農業、農村の動向と、講じた施策に関する報告として、食料・農業・農村基本法に基づき、毎年公表しているものです。令和6年度の農林水産業の動向、課題や取組をご紹介しており、特集として、「新たな食料・農業・農村基本計画の策定」、「合理的な価格の形成のための取組を推進」、「スマート農業技術の活用と今後の展望」の三つが記述されています。

また、トピックスでは、令和6年度における特徴的な動きとして、「農林水産物・食品の輸出促進」、「みどりの食料システム戦略の進展と消費者の行動変容」、「女性活躍の推進」、「農福連携の更なる推進」、「令和6年能登半島地震等への対応」の五つのテーマが取り上げられています。

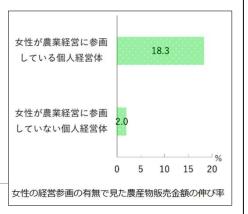
#### pick up

#### 女性の経営参画は、農業経営に新たな視点を取り込む ことにつながっています

トピックスでは、女性活躍の推進について紹介しています。 農林業センサスを活用した分析結果によると、女性が農業経営に参 画している個人経営体は、平成27年から令和2年にかけて、農産物販 売金額の伸び率が高くなっています。女性の経営参画は、経営に新た な視点を取り込むことにつながり、消費に関する意思決定の中心を担 う女性のニーズを的確に捉え、より効果的な対応ができるといった効 果があると考えられています。

令和6年度 食料·農業·農村白書(農水省HP)





## #農作業中の熱中症にご注意を!

毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡しており、死亡事故の 約85%が7~8月に発生しています。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。 予防のポイントや対策を農水省HPでご紹介しています。

熱中症対策(農水省HP)





# #農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産 者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、 その一部をご紹介します。

### ~九州の農業法人で初!オーガニック卵~

(株)カジワラファーム (宇佐市) 令和7年6月12日



その他の意見交換はこちら (大分県拠点HP)



宇佐市で、九州の農業法人で初めて有機JAS認証を取得した卵の生産・販売を行っている(株)カジワラファームと意見交換を行いました。平飼い卵の生産販売をしている中で、オーガニック卵のニーズが高まっていると感じたとのこと。卵で有機JAS認証を取得するためには、有機飼料の使用や飼育設備、運動場など厳しい基準を満たす必要がありますが、クラウドファンディングで運動場などを整備して有機JAS認証を取得。現在、600羽程が有機で育てられています。梶原社長はスマート農業にも関心が高く、作業の省力化になるロボットの開発にも意欲的です。





## # 大分県拠点へお気軽にご相談ください!

九州農政局大分県拠点 地方参事官室

〒870-0047 大分市中島西1-2-28 TEL 097-532-6131(代表) FAX 097-532-6281 URL https://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html

